

e-ビーフNEWS 北の牧場から

July 2022

十勝の初夏

真夏の気温がやってきました。さすが、夏至のこの長い昼間時間は。北欧の白夜とは言えないが、十分に楽しめる時間です。夜の7時過ぎまで日が残り、西の空に、ピンクとグレーのグラデーションの雲がハンバーガーに見えます。市中ではキャッチボールの子供の声や庭仕事を楽しむ大人たち、そこいらじゅうから美味しそうな焼肉のにおいが充満します。

内地が異常に早い梅雨明け宣言の中で、こちらが雨の降るときが増えてきました。エゾつゆの始まりかな。牧場回りのパドックが常にびちゃびちゃでショベルでの排水が続きます。いまいち食いの悪かった牛たちも少しずつ食が増えてきました。ちょっとした心配もさらに晴れ間の出たパドックでのんびり寝転んでいます。

今年から始めたデントコーンの有機(的)栽培は、30cmほどになり、今のところ頭一つ雑草には勝っています。カルチ(中耕)を入れないでも採れるのかちょっと心配ですが、畑作農家の小麦は、今年も最高の出来を予想できそうな勢いで青々と伸び穂を出してきました。今月中旬には収穫が始まります。



活動のお知らせ

6/11(土) **第23回総会&飼養技術研修会が開催されました** 新得町 北海道畜産試験場 3階大会議室およびモニター参加
13:00~16:30 出席者 9名モニター6委任状12:27/28会員 96%総会成立 実参加者15名
総会議案書

1) 第1号議案 2021年度事業報告及び収支決算に関する件

2) 第2号議案 2022年度事業計画及び収支予算に関する件 **全て承認されました**

飼養技術研修会が下記内容で行われ、活発な意見交換がなされました

・e-ビーフ牧場(北の牧場舎)の飼養・肉質分析…日本獣医生命科学大 動物栄養学教室 柴田昌宏氏

・黒毛和牛ハイモイスチャーシェールコーン給与方法…畜産試験場 糟谷氏

11/10(木) **第19回資源循環型肉牛生産シンポジウム2022**
13:00 とかちプラザ2階 視聴覚室

NEWSばかり読み

- 政府 予算編成に食糧安保6/1:自給率向上を
- 秋肥料55%大幅値上げ 原料高6/1:減農薬有機を目指せ
- 都道府県 乳価交渉が長期化へ 資材高騰で引上げ交渉6/1:厳しい
- 政府 みどり戦略目標 化学肥料30年で2割減少6/2:そんなもん
- 農機具メーカー 各機種値上げ 原料高や円安6/2:
- Jミルク 22年生産量771万t 需給ギャップが広がる6/4:どこで制限
- 和牛子牛相場急落 5月取引70万円割る 1年半ぶり6/6:肥育条件悪化
- 環境白書 脱炭素化に有機選択や地産地消6/8:環境循環
- 4月食料支出 外食急回復17%増 巣ごもり需要後退6/8:どこまで続くか
- 訪日観光客 2年ぶりに解禁 入国制限解除6/10:裏腹リスク
- 20年推計値 食品ロス8%減の522万t6/10:コロナ禍効果
- 飼料高騰で価格安定制度機能せず 各県補填策6/11:どこまで
- 日本の所得 11兆円が海外流出 資源高・円安で悪化6/11:これまた深刻
- WTO閣僚会議 食糧安保に危機感増大6/14:危機感先行
- 円安と株価下落 今までとは違う構造 輸出日本に変化6/14:日本を守るのか
- Jフレジット制度 農業での利用が8件と低迷 費用負担増が壁 6/15:取り掛かりの検討
- 広島西条農高 酒蔵会社からの赤ぬかで和牛短期肥育風味向上 6/15:リサイクル飼料効果
- 洋上風力発電で中国が急拡大 新規設備の世界8割シェア 6/15:さすが中国の勢い

- 中酪アンケート 酪農家の6割が継続危機 生産費上昇と収入減 6/16:厳しい
- 財務省 5月貿易統計2.3兆円の赤字 過去2番目 資源高、円安 6/17:日本が守れるか
- 官民円卓会議 中間報告 有機商流コスト減や加工品の国産比率シェア
- 拡大が課題に6/17:根本解決
- 消費者庁調査 78%の人が食品ロス減で実践 6/17:案外意識向上している
- コメ大手卸 神明 コメチーズ工場を本格生産開始 6/18:畜産物の代替が進む
- 東京農大・肉牛事業協 メタン排出抑制飼料の実証実験開始 6/18:総和からして必要あり?
- 農林水産省 全国のオーガニックヴィレッジ51ヶ所を紹介 有機地域化推進 6/18:地域の意識やまとまりどこまで
- 花き卸協 花の卸V字回復 コロナ前の水準に6/21:少しはゆとりが
- 飼料4月 8.9万円/t昨対16%アップ 最高値更新6/21:どこまで
- 全農 7-9月配合飼料11,400円/tアップ加工最高6/22:どこまで
- 農林水産省 家畜人工授精所の書類不備や保管状況指摘 6/25:監督業務に厳しさ増す
- 酪農家の和牛子牛生産が盛ん 受精卵注文が増加 6/24:搾乳維持で和牛増頭
- JA計根別 クロスブリーディングで三元交配 形質の多様化 6/27:ホルから脱却
- 農業経営体が20年で半減の100万戸割れ 個人離農進む 6/19:農「業」を残す

東京直近NEWS (6/29 Shi-REPORT)

ホルス

相場横ばい状況も高値維持。

慢性的な頭数不足から定期販売分の供給で完売状況。

新規供給や追加対応は各産地対応不可回答多数。

販売状況は決して好調ではなく、特に量販は現傾向。

ヒレ、赤身、バラ系は引合強いが切落しがやや鈍くなっているか。

食品全般の値上げから高値牛肉タンパクは敬遠されがちな状況も。

経産牛

経産牛相場は横ばい状況もガリものもジリ上げ。

赤身関係中心に引合強く、ヒレは全くなし。各品種ヒレの余剰は全くな

く、外食原料で逼迫。バラ関係も冷凍原料で引合強い状況継続。

唯一カタロースが若干余裕あるか。挽き材は特段引き合いが強い状況

ではないが販売先へ定期定量維持しており、大きな上下は無い。

挽き材より品位劣る副産物関係の引合のほうが強い。

